

# 生涯学習推進員の交流の場「エルキューブ」(井戸端会議)

実施日：令和4年2月26日(土) 14:00～15:00  
 テーマ：コロナ禍・・・そして今

日々の地域活動における疑問や意見を、生涯学習推進員同士で語り合う交流の場として毎年開催してきた「エルキューブ」。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。令和3年度は、会場参加と「Zoom」を使ったオンラインの両方で実施しました。

当日は、オンライン8名、会場10名の合計18名が参加され、大阪市生涯学習推進員協議会・企画部会の皆さんによる企画及び当日の司会、進行で実施。コロナ禍での活動や困りごとなど、久しぶりに校区を超えた話し合いができました。



## 令和3年度 エルキューブ 参加者 アンケート

満足度	回答数	意欲が持てましたか	回答数	今後の開催方法について	回答数
大変良かった	6	大いに持てた	6	オンラインを希望する	3
良かった	11	ある程度意欲が持てた	10	対面(会場参加)を希望する	4
あまり良くなかった	0	あまり意欲が持てなかった	0	両方あった方がいい	9
良くなかった	0	まったく意欲が持てなかった	0	無回答	2
無回答	1	無回答	2	総計	18
総計	18	総計	18		

## PICK UP! 研修動画「スタートルちゃんねる」配信中!

「スタートルちゃんねる」とは・・・  
 新型コロナウイルス感染症の影響で集うことが困難な今、大阪市生涯学習推進員の皆様の学びを応援する研修動画ができました! いつでもどこでも視聴できる研修動画「スタートルちゃんねる」。今後の地域での活動に役立つヒントがきっと見つかります!



**「まちの仲間を見つけるコツ」**  
 ～誰もが参加できる学びの場づくりの事例から～  
 講師：若狭 健作【(株)地域環境計画研究所】  
 参加がしやすく楽しい会議の進め方や、地域の“場”や“人”との素敵な関わり方のコツについて伺います。

**「地域がつながるプログラミング学習」**  
 講師：胡中 俊雄【大阪市生涯学習インストラクター】  
 「プログラミング教育」って何?そのねらいは?という疑問や、子どもから大人まで地域でつながる「プログラミング学習」を始めるヒントを学びます。

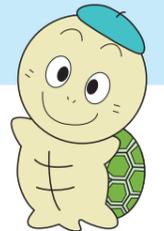
**「子どものこころとつながる」**  
 講師：良原 恵子【大阪府臨床心理士会副会長】  
 スクールカウンセラーとして活躍する講師から子どもたちとの接し方や話し方のコツ、気を付けて欲しい表現についてお示しいたします。

**「みんなでつくろう!“わたしのまちの手作り防災マップ”」**  
 講師：芝崎 美世子【大阪市生涯学習インストラクター】  
 防災士として活動する講師と、実際にまちを歩きながら“素早く”“安全に”避難するための防災マップの作り方を学びます。

**「スタートルちゃんねる」の視聴お申し込み**

大阪市立総合生涯学習センター  
 地域支援担当  
 TEL:06-6345-5004

# 令和3年度 大阪市生涯学習推進員研修 報告書



## 令和3年度 推進員研修について

地域における生涯学習を推進するため、令和3年度も新規委嘱予定者を対象とした「養成講座」と、委嘱最終年度の生涯学習推進員を対象とした「3年次研修」を実施しました。  
 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面での研修ではなく、動画を視聴する形式での研修とし、必要科目数などについても例年と比べ大きく変更しました。

## 研修プログラム ■必要科目数

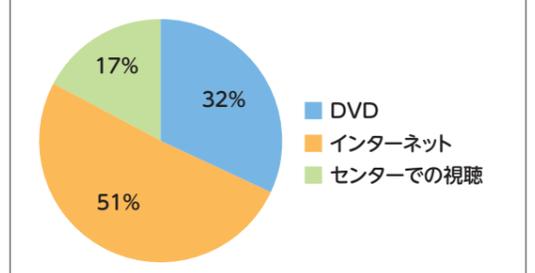


3年次研修	推進員経験年数	基本科目の4講座から
	3年目もしくは6年目	2科目
	9年目以上	1科目

\*基本科目3について  
 区連絡会が主催する会議または研修会への出席についても、受講の扱いとし、各区の状況に応じて実施。

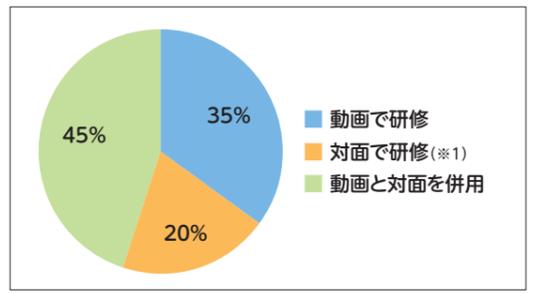
## 受講状況

令和3年度	受講者数	修了者数
養成講座	37名	37名
3年次研修	326名	322名
合計	363名	359名



動画の視聴方法	養成講座	3年次研修	合計
DVD	11	108	119
インターネット	25	162	187
センターでの視聴	1	63	64

今後希望する研修方法について	養成講座	3年次研修	合計
動画で研修	16	108	124
対面で研修(*1)	2	67	69
動画と対面を併用	16	140	156



\*1[対面]については新型コロナウイルスの収束後として質問しています。  
 ※グラフについては養成講座・3年次研修の合計値

※数値は令和4年3月16日現在のものとなります。

## 令和3年度 大阪市生涯学習推進員研修報告書

編集 大阪市立総合生涯学習センター TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019 (指定管理者:大阪教育文化振興財団・SPS 共同事業体)  
 発行 大阪市教育委員会 発行日 令和4年3月

# 令和3年度 推進員研修 講座内容

## 動画の視聴方法 (1つを選ぶ)

- ① DVD でみる——— 自宅でDVDを選択した方には、該当講座のDVD・講座資料を自宅にお送りしました。
- ② インターネットでみる——— インターネットを選択した方には、動画の視聴方法をお送りしました。
- ③ 学習センターで動画をみる——— 総合生涯学習センター、阿倍野・難波の各学習センターでの視聴を選択した方には、感染症対策を十分に行ったうえで、センター内で動画を視聴していただきました。

### ◆オリエンテーション(養成講座のみ)

#### I 生涯学習推進員制度とは? ~成り立ちと役割について~

#### II 先輩推進員の実践に学ぶ

講師：I 大阪市教育委員会事務局生涯学習担当 II 大阪市生涯学習推進員

前半は生涯学習推進員制度について、推進員活動の拠点となるルーム運営の概要や講座を開設する際のポイントなどを紹介。

後半は推進員として住之江区住之江小学校で活躍されている長田さんから、ルーム活動の事例報告や、運営していく際の心構えなど、推進員として長年携わってこられた経験を言葉にいただきました。

### 生涯学習とは

- ・ひとりひとりが自分の人生を豊かに生きるために、生涯のいろいろな時期に自ら進んで行う学習や活動のこと。
  - ・学びを通して交流していくこと
  - ・学んだことを誰かに教えていくこと
  - ・まちづくりへのとり組み など
- これらも、生涯学習ととらえられる。

#### 提出レポート(一部抜粋)

- ・生涯学習という呼び方から堅苦しい大人の勉強会的なイメージを持っていた。講座の内容から、個人の学び➡つながり➡社会に還元➡新しい取り組みが生まれることを知りました。
- ・ご近所付き合いが少なくなった今、「ひと」「まなび」をつなぐネットワークづくりは大切なことだと思います。
- ・「生涯学習推進員制度とは?」で「生涯学習で最も大切なことは人との出会いやつながり」という言葉と、「先輩推進員の実践に学ぶ」での「肩ひじ張らずに楽しくやる」という言葉が大切だなと感じました。

### ◆「生涯学習ってなに? ~学びでつながる、ひととまち~」

講師：大阪樟蔭女子大学 教授 萩原雅也

なぜ、生涯学習という考えが生まれたのか。生涯にわたって学ぶことの意味や、年齢を重ねた上での学習の大切さなどをお話していただきました。

さいごにコロナ禍の今だからこそ、いっそう生涯学習が必要とされ、「誰一人取り残さない」ように人々の相互理解とつながりを促進することの必要性をお示しいただきました。

#### 社会変容と知識・能力の考え方の変化



#### 提出レポート(一部抜粋)

- (養成講座)
- ・「社会の役に立つ学び」や「市民力アップ」という言葉に推進員になる重みを感じました。
  - ・いくつになっても十分な学習能力があり、能力は継続して使うことで維持でき、生涯いつでも学べると思いました。
- (3年次研修)
- ・「誰ひとり取り残さない」ように人との関わり、つながりづくりを進めていきたい。
  - ・研修で知ったことを、推進員で話し地域のニーズにあったことができるように情報交換をしていきたい。

### ◆「生涯学習がめざすもの ~[第3次生涯学習大阪計画]と推進員活動がもつ可能性について~」

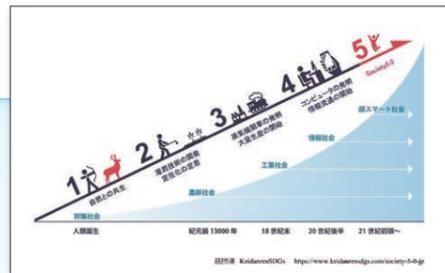
講師：近畿大学 教授 久隆浩

大阪市がめざす生涯学習、地域コミュニティづくりのヒントについてお話していただきました。人生100年時代の到来によって必要となる、「誰もが生涯にわたって学習し続けることができ、その成果を十分に活かすことができる社会」の実現への取り組みなどをわかりやすく解説していただきました。

この研修を受けた多くの方が、自律して行動できるネコ型人間という言葉に共感されていました。

#### 提出レポート(一部抜粋)

- (養成講座)
- ・この講座を受けて、自分で無意識に重荷扱っていた推進員の仕事を「とりあえず始めてみよう」と思えるようになりました。「自律」の意味を70過ぎて初めて知り、新しい自分に会えそうで楽しみです。
  - ・「まなび」を基本として、地域住民とつながるネットワークとなることを学びました。
- (3年次研修)
- ・「学び」を通じて他人と「つながり」ができることや、自分で学んだことを地域に広げて還元していく過程。「ひと」「まち」「まなび」とのつながりづくり、みんなをその気にさせる人、それが「生涯学習」だと思いました。
  - ・共助の大切さと自律の重要性を感じました。

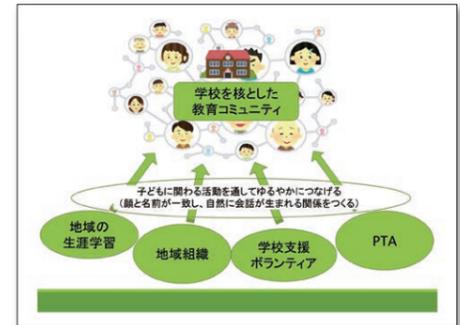


### ◆「学校・家庭・地域の協働と教育コミュニティづくり」

講師：関西学院大学 准教授 濱元伸彦

学校と地域が連携し、子どもたちはぐくむ「教育コミュニティ」づくり。日頃から地域の人達がおこなう声かけが、子どもたちの自己肯定感や非認知能力の成長を促す要因になることを、調査データを基にお話されました。

また、生涯学習推進員と、はぐくみネットコーディネーターとの連携についても、提案していただきました。



#### 提出レポート(一部抜粋)

- (養成講座)
- ・「顔と名前がわかる信頼のおける人間関係」がコミュニティの基本という事を、言語化して理解できました。
  - ・教育コミュニティづくりにおいて、生涯学習推進員の役割について学びました。学校・家庭以外の存在や場所が子どもにとって大切な心の支えになるのではと考えます。
- (3年次研修)
- ・学校・地域が密接につながって子どもたちの環境をより良いものにしていきたい。コミュニティづくり、コロナ禍だからこそ、より一層対面の良さを感じる。
  - ・生涯学習推進員活動と、はぐくみネットの両方に長年携わり、これまでこの2つの活動がつながる努力をしてきました。なかなか進まないことも多くありますが、今回の講義で方向性が間違っていないことをあらためて確認できて良かったです。

### ◆「生涯学習をもっと知ろう! ~推進員活動の可能性~」

講師：関西大学 教授 赤尾勝己

生涯学習推進員の役割や、第1次から第3次までの「生涯学習大阪計画」について解説していただきました。また、SDGsの概念、生涯学習ルームでの活動を取材された際の体験談や、ルーム運営でのヒントなど、今後の推進員活動に必要な事柄をお話いただきました。

#### 提出レポート(一部抜粋)

- ・生涯学習推進員のすべきこと、実践例の両方の提示が具体的であり、今後の講座を企画していく上で生かせることがたくさんあり、本当に良かったと思う。
- ・「自分たちで物事を決め、社会的に活動し、共に解決する」、そうだ! と思ってもう一度学校の先生方と一緒に考えていきたいと思いました。
- ・推進員活動を続けていた事が、地域の魅力に気付くきっかけとなるプログラムでした。

#### 1. 生涯学習推進員の役割

生涯学習推進員の役割は、地域の人々の生涯学習を支援することです。  
**生涯学習推進員=生涯学習支援者**  
 講座の制作者(プロデューサー) Producer  
 どんな講師を起用するか。謝金をいくらにするか。  
 講座の計画者(プランナー) Planner  
 どのくらいの期間、頻度で何回行うか。  
 指示する人(ディレクター) Director  
 講師と講座参加者の関係を見ておく。  
 来年度の講座をどうするか。

## 研修を受講された皆さんの声

#### ◆研修方法についてのご意見

- ☆動画で研修を選択
  - ・自分の都合の良い時に学べて、何度でも視聴する事ができ、気になる箇所を聞き直すことができる
- ☆対面で研修(新型コロナウイルスが収束した場合)
  - ・講師への質問が出来る・参加者同士の交流ができる(グループワークや研修が終わった後の意見交換)
- ☆動画と対面を併用
  - ・動画は空き時間に受講できる、対面での研修は質問や交流ができる
  - ・自分の状態に合わせて研修方法を選択したい

#### ◆受講してみたいテーマや内容

- ・SDGs、地域の環境問題、魅力的なまちづくりの方法、障がい者の地域への参加

- ・他人を快く巻き込む地域活動のやり方と、人と人とのつながり方(学校・地域・推進員)や、それを楽しむ方法。
- ・コミュニケーション能力向上
- ・SNSの使い方、情報共有の方法、動画の作り方、IoT・ICTの活用やパソコンの使い方
- ・先輩推進員の体験談、活動されているルーム講座や体験談など(事例紹介や見学会)
- ・生涯学習ルームの運営、PRの仕方、講座への参加者を増やす方法

#### ◆感想(その他)

- ・自宅で研修のDVDを見るより、他の人と一緒に講師の先生の話聞いた方が集中できると思う。
- ・必須科目数については現在の通りが良いが、他の配信動画も参考にしたい。